

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】

～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】

市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保



ふれあい健康フェスティバルを開催しました！

問 総務課 ☎ 23-3311 (内線3504)

患者さんやそのご家族、地域の方々に市民病院を身近に感じ、親しみを持ってもらいたいという思いで、今年で4回目となる「ふれあい健康フェスティバル」を10月5日（土）に開催しました。当日は、天候に恵まれたこともあり、多くの方々に来場していただき、ご家族連れで楽しんでいる様子が見られました。

メイン会場の2階フロアでは、血管年齢測定、骨量測定、ふれあいミニ縁日などが行われ、正面玄関前では、消防車・救急車・警察車両の展示、体験試乗が行われました。さらに、市内の中学生を対象にした職場体験や、院内ツアーではヘリポートや構造安全性が確認された免震用オイルダンパーに交換した免震装置などの見学も行われました。



職場体験での疑似調剤体験



ふれあいミニ縁日



交換した免震用オイルダンパー



職場体験での内視鏡トレーニングBOX体験

問 経営企画課財政係 23-3311 (内線3706)

決算概要

平成30年度は、「新大崎市民病院改革プラン」の具体的な行動計画となる「大崎市病院事業病院ビジョン」を6月に策定し、その目標達成に向け、本院と分院、診療所が機能分担を図り、病院運営を行いました。

主な事業としては、本院では、がん診断に有用なPET-CT（陽電子放射断層撮影装置）を最新機器に更新し、臨床検査部では、全世界で適用される規格である国際規格「ISO15189」の認定を受けました。鳴子温泉分院では、新病院建設に向けて基本計画及び基本設計を策定するとともに、病床再編を実施しました。岩出山分院では、リハビリテーション施設を建設し、鹿島台分院では、地域包括ケア病床の稼働や病床再編を実施しました。田尻診療所では、聴力検査機器のオージオメーターを更新し、健康管理センターでは、MRI（磁気共鳴画像診断装置）を更新しました。

決算では、病院事業収益と病院事業費用の差引が、5億5,007万円の黒字となり、前年度に引き続き2年連続の黒字決算となりました。収益は、平成30年4月の診療報酬改定へ確実に対応したことによる各種加算の継続取得が図られ、特に本院では、心臓血管外科の手術件数の増加等により医業収益が増加したことなどから、病院事業全体の収益は、240億1,507万円となりました。一方費用は、抗がん剤等の高額薬品等の使用量の増加により材料費は増加しましたが、減価償却費等の減少により医業費用が減少し、病院事業全体の費用は、234億6,500万円となりました。

今後も病院理念である「市民が安心できる医療の提供」に基づく病院運営を念頭に、各施設がそれぞれの役割を十二分に果たし、医療の質の向上と地域医療の充実に努めてまいります。

収益的収支〈税抜〉

収益的収入 240 億 1507 万円の内訳

一般会計繰入金
27億6058万円その他医業収益
8億1185万円その他
16億9122万円入院収益
121億6654万円外来収益
65億8488万円純利益(黒字額)
5億5007万円給与費
108億8994万円材料費
62億716万円経費
33億4171万円

収益的支出 234 億 6500 万円の内訳

減価償却費
18億3937万円その他
11億8682万円

資本的収支〈税込〉

資本的収入 15 億 641 万円の内訳

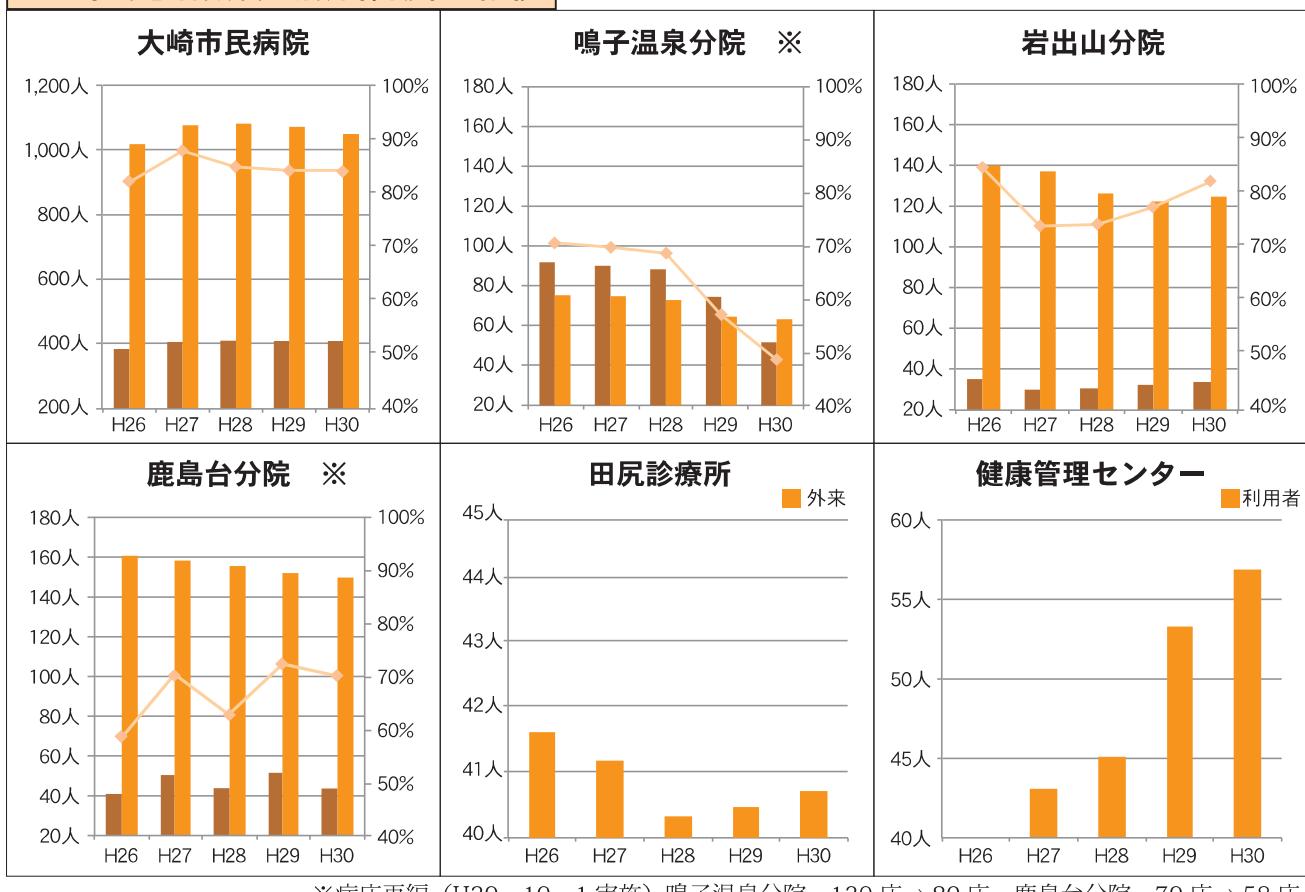
その他
5909万円企業債
7億5190万円一般会計繰入金
6億9542万円資本的収支不足額
8億5759万円建設改良費
9億2330万円企業債償還金
14億2425万円

資本的支出 23 億 6400 万円の内訳

その他
1645万円

1日平均患者数及び病床稼働率の推移

■ 入院 ■ 外来 ■ 病床稼働率



※病床再編 (H30. 10. 1実施) 鳴子温泉分院 130床→80床 鹿島台分院 70床→58床

病院事業全体の業務量

	平成 30 年度	平成 29 年度	増減
入院	延べ患者数 (人)	197,482	207,769 △ 10,287
	1日平均患者数 (人)	541.0	569.2 △ 28.2
	病床稼働率 (%)	77.7	78.3 △ 0.6
外来	延べ患者数 (人)	350,606	356,960 △ 6,354
	1日平均患者数 (人)	1,427.7	1,454.1 △ 26.4

健康管理センター年間利用者数

平成30年度(人)	平成29年度(人)	増減(人)
13,915	12,961	954

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業などで、1年間の経営活動によって生じた収益である「収益的収入」と、これらの収益を生むために要した費用である「収益的支出」の差引額のことをいいます。1年間の病院の経営成績を表し、収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」となります。

用語解説

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する費用である建設改良費や、医療機器購入などのために借り入れた企業債の元金返済に要する支出である「資本的支出」から、資本的支出の財源となる企業債や一般会計からの補助金である「資本的収入」を差し引いた額をいいます。

資本的収支不足額は、収益的収支における現金の支出を伴わない費用（減価償却費や資産減耗費など）で企業内部に留保されている資金（損益勘定留保資金）などで補てんしています。

【病床稼働率】

病院のベッドがどの程度効率的に稼動しているかを示す数字です。100%に近いほど空いているベッドが無い状態で利用されることになります。病院の経営の質を示す指標として活用されます。

～冬季限定メニューを実施します～

健康管理センターでは、人間ドック及び脳ドックの期間限定割引を実施します。割引の対象となる人は、個人申し込みで、協会けんぽ、企業、市町村、共済などの団体から補助を受けない人となります。割引対象期間は令和2年1月から3月までです。

また、風しん、肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチンなどの予防接種も実施しております。

完全予約制のため事前の申し込みが必要となります。詳しい内容や料金については、お気軽にお問い合わせください。

問 健康管理センター管理課 ☎ 23-3471

●主な健診料金（令和元年10月1日現在）

健診コース名	人間ドック	脳頸部ドック	脳ドック
料金（税込）	30,000円	20,000円	15,000円

●主なオプション料金（上記の健診に追加した場合の価格）

検査名	内容	セット料金（税込）
肺コース	胸部CT・喀痰細胞診・呼吸機能を検査します	25,400円
腫瘍マーカー検査	血液検査でがんの疑いがないかを調べます	7,450円
動脈硬化コース	血管の老化の程度や早期血管障害を検出することができます	5,280円
胃がんリスク検査(ABC健診)	血液検査により胃がんの発生リスクを調べます	4,390円
骨密度測定検査	骨粗しょう症の診断に有用です	3,860円



岩出山分院のスタッフ

岩出山分院で地域包括ケア病床の運用がはじまりました

地域包括ケア病床とは、急性期治療後や病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設等へ復帰するための支援を行う病床です。地域包括ケア病床への入院（移動）は患者さんの症状や状態を確認し、ご本人やご家族にご提案させて頂きます。ご相談事がありましたら、お気軽にスタッフにお声がけください。

入院中はリハビリテーションの提供が一番の要になると思いますが、地域の「かかりつけ」病院としての役割を果たすべく多職種にわたるスタッフ一同一丸となって励んでいきますので、地域の皆様におかれましても、なお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

問 岩出山分院管理課 ☎ ②-1355

市民公開講座の開催について

市民公開講座を開催します。皆様のご参加をぜひお待ちしております。

■開催日時 令和2年1月26日（日）午前10時～午前11時30分

■テーマ 「冬の皮膚トラブル」（仮題）

■講師 定員 50人

■申込み 1月22日（水）まで電話または、氏名・参加人数・電話番号を記入し

たFAXかメールでお申込みください。

問 総務課

☎ 23-3311（内線3504）

Fax ②-5380

E-mail soumu-och@h-osaki.jp

アンケートにご協力ください

当院では、病院の医療機能や役割、取り組み等をご理解いただきため、広報誌「市民病院だより」と「つながり」を行っています。より読みやすく、わかりやすい紙面づくりの参考にさせていただきたくため、アンケートを実施していますのでご協力ををお願いいたします。



▲アンケートは
こちらから



▲バックナンバー
はこちらから

問 経営企画課 ☎ ②-33311
(内線3705)

編集・発行

大崎市民病院 経営管理部経営企画課 TEL 0229-23-3311 (内線 3705)

〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号

Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail kikaku@h-osaki.jp



日本医療機能評価機構
認定第 JC2159号